

New Hope

～札幌ペンテコステ教会ニュース～

2012年9月

ダビデ王

3000年以上も昔、古代イスラエル王国に「ダビデ」という王がいました(英語読みすれば「デイヴィッド」です)。

この人は最初は羊飼いで後にサウルという王に仕えましたが、サウルが退けられた後にイスラエルの王となり、40年にわたり王国を治めました。

彼は『主』(天地を創造した唯一の神のこと)を信頼しており、人生のいろいろな場面で『主』を仰ぎ『主』に従っていきました。失敗もありましたが、その都度『主』に立ち返りました。(仔細は、旧約聖書「サムエル記」に記されています)

彼が王になる前も、また王となった後にも、さまざまな苦労や困難、危機的状況を経験しました。そのような中で『主』に信頼して歩み、以下の詩を残しました。

主はわたしの牧者であって、わたしには乏しいことがない。

主はわたしを緑の牧場に伏させ、いこいのみぎわに伴われる。

主はわたしの魂をいきかえらせ、み名のためにわたしを正しい道に導かれる。

たといわたしは死の陰の谷を歩むとも、わざわいを恐れません。あなたがわたしと共におられるからです。あなたのむちと、あなたのつえはわたしを慰めます。

あなたはわたしの敵の前で、わたしの前に宴を設け、わたしのこうべに油をそそがれる。わたしの杯はあふれます。

わたしの生きているかぎり

必ず恵みといつくしみとが伴うでしょう。わたしはとこしえに主の宮に住むでしょう。

(旧約聖書 詩篇 第23篇 1～6節)

王である彼も牧場の羊に過ぎず、真の牧者は『主』なのだ、と告白しています。『主』のお陰で生き活きと生きることができ、正しい道を知ることができる、と宣言しています。文字通り「死の陰の谷」を何度も歩んだ彼ですが、それゆえに説得力がある詩となっています。非があれば時に「むち」をもって懲らしめ、また辛い時には「つえ」で支える、『主』とはそういう方なのだ、と信頼の言葉を連ねています。

「そんな昔の人物など、自分とは関係ない」そう思う方もおられるかも知れませんが、決して関係なくなどありません。確かにダビデ王は昔の人ですが、『主』は昔も今も変わらないお方だからです。

札幌ペンテコステ教会

主任牧師 矢巻 邦彦

札幌市中央区南14条西18丁目4-5

TEL&FAX 011-561-5072

<http://sapporopk.com/>



たとい死の陰の谷を歩むとも

ダビデが詠ったように「死の陰の谷」を歩むような状況に放り込まれる事もあるでしょう。彼がサウルに仕えていた時、敵軍の最強の戦士と一対一で戦う場面がありました。主君に謀反の疑いをかけられて命を狙われたこともありました。王になってからも、息子の反逆により国から追い出され殺されかけたこともありました。自身の失敗により苦境に陥ることもありました。……それでも彼は『主』に信頼して歩み続けました。

「詩篇」には彼が残した詩が数多く収録されています。現代の人間が経験する困難や苦痛と共通する部分も多くあります。ぜひ聖書をひもとき、詩篇を読んでみて下さい。聖書を通じて『主』の事を知るならば、あなたがどんな困難の中にあろうとも、必ずや助けになることでしょう。「ダビデの神」は、「あなたの神」でもあるからです。

ダビデの子孫

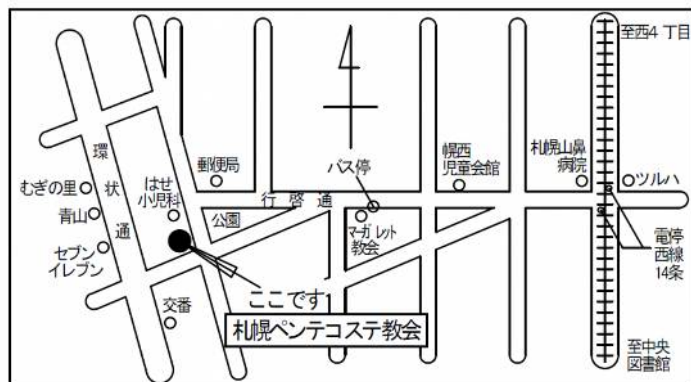
イエス・キリストは『主』の約束の通りに、ダビデの子孫として生まれました。キリストは「真の王国」の王として、「救いぬし」として、この世に来ました。もしあなたがキリストのことをよく知り、キリストを信じるなら、この世の命が尽きた後も永遠に続く生命を得ることができます。

信じることは、まず「聞くこと」から始まります。知人にクリスチャンがいるならば、イエス・キリストについて、神について、救いについて聞いてみて下さい。いなければ、ご自分で「わかるように助けて下さい」と祈りつつ、聖書を開いてみて下さい。下記の教会に来て下さっても結構です。ダビデを助けて下さった方は、あなたをも必ず助けて下さいます。

教会の定期集会のご案内

- GP クラブ 子どものためのプログラムです。(毎週日曜日 あさ 9:00～10:00)
聖日礼拝 聖書を通じて神さまを知ります。(毎週日曜日 あさ 10:30～12:00)
祈り会 神さまを賛美し祈り新たな力を受けます。(毎週木曜日 よる 7:00～8:30)

どの集まりも参加自由、入場無料です。それぞれ、自由献金の時間がありますが、「感謝の気持ちをささげる」ためのもので、各自の自由です。



教会のホームページ

<http://sapporopk.com/>

NewHope のバックナンバーを読んだり、教会の様子を見たりすることができます。

西 4 丁目電停から市電にて
西線 14 条下車

JR 札幌駅札幌ターミナルから、
JR 北海道バス啓明線[51]にて
南 14 条西 17 丁目下車